

2022年度 決算説明資料

当期決算の特徴（単体）	……………	1
I 2022年度通期（2023年3月期）決算の概要		
1. 預金、貸出金の残高【単体】	……………	2
2. 利鞘【単体】	……………	3
3. 預り資産残高・期中販売額【単体】	……………	3
4. 損益状況【単体】	……………	4
5. 損益状況【連結】	……………	6
6. 業務純益【単体】	……………	7
7. 債券等関係損益【単体】	……………	7
8. 株式等関係損益【単体】	……………	7
9. 有価証券の評価損益【単体】・【連結】	……………	8
10. ROE【単体】	……………	8
11. 自己資本比率（国際統一基準）【単体】・【連結】	……………	9
II 貸出金等の状況		
1. 貸倒引当金と自己査定結果（債務者区分別）【単体】	……………	10
2. 金融再生法開示債権およびリスク管理債権の状況【単体】・【連結】	……………	10
3. 業種別貸出状況等	……………	11
(1) 消費者ローン残高【単体】	……………	11
(2) 中小企業等貸出金残高・比率【単体】	……………	11
(3) 業種別貸出金残高【単体】	……………	12
4. 地域別貸出状況等	……………	12
(1) 特定海外債権残高【単体】	……………	12
(2) 地域別貸出金【単体】	……………	12
III 2024年3月期の業績予想	……………	13

当期決算の特徴(単体)

◆外国証券の売却損計上を主因に経常利益、当期純利益ともに減益

(詳細は、4～5頁をご覧ください。)

- ◇ 貸出金利息、有価証券利息配当金が増加したことにより、資金利益は前期比2,251百万円増加しました。
- ◇ 役務取引等利益は前期比553百万円減少、その他業務利益は外国証券の売却損計上等により同14,035百万円減少しました。その結果、業務粗利益は前期比12,337百万円の減益となりました。
- ◇ 経費は前期比2,215百万円減少したものの、実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は同10,122百万円の減益、業務純益は同7,384百万円の減益となりました。
- ◇ 臨時損益は、株式等関係損益の増加等により前期比3,284百万円増加したものの、経常利益は同4,100百万円の減益となりました。一方、特別損益は前期比717百万円増加、法人税等合計は同431百万円減少しました。
- ◇ これらの結果、当期純利益は前期比2,950百万円減益の14,411百万円となりました。

(単位:百万円)

	2022年度 通期	2021年度 通期	前期比
業務粗利益	45,510	57,847	△12,337
資金利益	50,000	47,748	2,251
うち貸出金利息	38,054	33,412	4,641
うち有価証券利息配当金	19,994	15,488	4,506
うち預金等利息 (△)	1,195	632	562
役務取引等利益	10,029	10,582	△553
その他業務利益	△14,519	△484	△14,035
[うち債券等関係損益]	[△13,678]	[△1,415]	[△12,263]
経費 (△)	44,518	46,733	△2,215
人件費 (△)	18,890	18,834	55
物件費 (△)	22,544	24,596	△2,051
税金 (△)	3,083	3,302	△219
実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	991	11,113	△10,122
コア業務純益	23,746	13,740	10,005
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	23,277	13,283	9,994
一般貸倒引当金繰入額〔①〕 (△)	△2,111	626	△2,737
業務純益	3,102	10,487	△7,384
臨時損益	15,738	12,454	3,284
うち株式等関係損益	17,329	10,936	6,393
うち償却債権取立益	615	498	117
うち不良債権処理額〔②〕 (△)	4,165	1,487	2,678
うち貸倒引当金等戻入益〔③〕	—	22	△22
経常利益	18,841	22,942	△4,100
特別損益	127	△590	717
うち固定資産処分損益	127	△81	208
うち減損損失 (△)	—	509	△509
税引前当期純利益	18,968	22,351	△3,382
法人税等合計 (△)	4,557	4,989	△431
当期純利益	14,411	17,361	△2,950
与信コスト〔①+②-③〕 (△)	2,054	2,090	△36

I 2022年度通期（2023年3月期）決算の概要

1. 預金、貸出金の残高【単体】

当期中の預金等（譲渡性預金を含む）の期中平均残高は、前期比1,602億円増加（増加率2.90%）し、5兆6,795億円となりました。うち、コアとなる個人預金の期中平均残高は4兆823億円で前期比1,283億円の増加となりました。

一方、貸出金の期中平均残高は4兆2,283億円となり、前期比1,713億円の増加（増加率4.22%）となりました。これは、事業性貸出・消費者向け貸出・地公体向け貸出がそれぞれ増加したことによるものであります。

この結果、預貸率は74.44%で、前期比0.94%上昇いたしました。今後も引き続き、運用力の一層の強化に努め、良質な貸出金の増強に努力してまいります。

(金額単位：百万円)

〔期中平均残高〕	2023年3月期	(比較欄上段は増減率)		2022年度中間期	2022年3月期
		2022年度中間期 比較	2022年3月期 比較		
預金等 (預金＋譲渡性預金)	5,679,519	(Δ0.01%) Δ936	(2.90%) 160,292	5,680,455	5,519,227
うち滋賀県内	4,982,637	874	171,761	4,981,762	4,810,875
預金	5,628,355	1,203	176,240	5,627,151	5,452,114
うち個人預金	4,082,320	24,239	128,352	4,058,081	3,953,968
うち法人預金	1,296,449	Δ5,590	27,761	1,302,039	1,268,687
譲渡性預金	51,164	Δ2,140	Δ15,948	53,304	67,112
貸出金	4,228,397	(2.00%) 83,067	(4.22%) 171,365	4,145,329	4,057,031
うち滋賀県内	2,536,991	13,970	51,656	2,523,020	2,485,334
うち消費者向け貸出	1,079,406	9,445	22,259	1,069,961	1,057,146
うち事業性貸出	2,597,949	78,092	144,149	2,519,856	2,453,800
預貸率	74.44%	1.47%	0.94%	72.97%	73.50%

(金額単位：百万円)

〔期末残高〕	2023年3月末	(比較欄上段は増減率)		2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
預金等 (預金＋譲渡性預金)	5,762,440	(1.76%) 100,124	(1.58%) 90,061	5,662,316	5,672,379
うち滋賀県内	5,075,567	100,004	95,403	4,975,562	4,980,163
預金	5,718,288	106,142	101,589	5,612,145	5,616,699
うち個人預金	4,109,438	36,551	91,497	4,072,887	4,017,941
うち法人預金	1,293,590	1,658	14,721	1,291,931	1,278,868
譲渡性預金	44,152	Δ6,018	Δ11,528	50,170	55,680
貸出金	4,360,257	(2.57%) 109,495	(6.79%) 277,525	4,250,761	4,082,731
うち滋賀県内	2,571,479	17,086	60,827	2,554,392	2,510,651
うち消費者向け貸出	1,102,263	22,885	39,452	1,079,378	1,062,810
消費者ローン	1,083,631	24,164	42,308	1,059,467	1,041,322
その他の 消費者向け貸出	18,632	Δ1,278	Δ2,855	19,910	21,488
うち事業性貸出	2,718,019	102,667	241,493	2,615,351	2,476,525
預貸率	75.66%	0.59%	3.69%	75.07%	71.97%

- (注) 1. 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
2. 消費者向け貸出のうち、消費者ローンとは、借入の利便性向上のため予め貸出条件等を定めてパッケージ化した商品であり、その他の消費者向け貸出とは、消費者ローン以外の個人向け一般融資（事業性の貸出を除く）であります。

2. 利鞘【単体】

当期中の資金運用利回りは前期比0.21%上昇の0.92%となりました。

資金調達原価は前期比0.10%上昇し、総資金利鞘は0.11%（同0.11%上昇）となりました。

（単位：％）

【全店分】	2023年3月期	2022年度中間期比較		2022年度中間期	2022年3月期
		2022年度中間期比較	2022年3月期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	0.92	0.10	0.21	0.82	0.71
(イ) 貸出金利回り (B)	0.89	0.03	0.07	0.86	0.82
(ロ) 有価証券利回り	1.42	0.01	0.21	1.41	1.21
(2) 資金調達原価 (C)	0.81	0.10	0.10	0.71	0.71
(イ) 預金等原価 (D)	0.80	0.07	Δ0.05	0.73	0.85
(ロ) 預金等利回り	0.02	0.01	0.01	0.01	0.01
(ハ) 経費率	0.78	0.06	Δ0.06	0.72	0.84
(3) 預貸金利鞘 (B)－(D)	0.09	Δ0.04	0.12	0.13	Δ0.03
(4) 総資金利鞘 (A)－(C)	0.11	—	0.11	0.11	0.00

（単位：％）

【国内店ベース】	2023年3月期	2022年度中間期比較		2022年度中間期	2022年3月期
		2022年度中間期比較	2022年3月期比較		
(1) 資金運用利回り (A)	0.74	0.05	0.08	0.69	0.66
(イ) 貸出金利回り (B)	0.79	Δ0.01	Δ0.03	0.80	0.82
(ロ) 有価証券利回り	1.15	Δ0.06	0.06	1.21	1.09
(2) 資金調達原価 (C)	0.70	0.05	—	0.65	0.70
(イ) 預金等原価 (D)	0.76	0.05	Δ0.07	0.71	0.83
(ロ) 預金等利回り	0.00	—	—	0.00	0.00
(ハ) 経費率	0.76	0.05	Δ0.07	0.71	0.83
(3) 預貸金利鞘 (B)－(D)	0.03	Δ0.06	0.04	0.09	Δ0.01
(4) 総資金利鞘 (A)－(C)	0.04	—	0.08	0.04	Δ0.04

（注）小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 預り資産残高・期中販売額【単体】

預り資産残高

（単位：百万円）

	2023年3月末	2022年度中間期比較		2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
投資信託期末残高 (A)	172,086	10,159	2,735	161,927	169,350
公共債期末残高 (B)	43,924	Δ793	Δ4,344	44,717	48,268
金融商品仲介期末残高 (C)	47,068	Δ4,787	Δ214	51,855	47,283
預り資産残高合計 (A+B+C)	263,079	4,578	Δ1,823	258,500	264,903
うち個人預り資産残高	234,566	1,910	Δ6,764	232,655	241,331

期中販売額

（単位：百万円）

	2022年度	2021年度	
		前年同期比較	2021年度
投資信託	45,240	Δ36,936	82,176
金融商品仲介	15,347	Δ14,722	30,069
保険	50,534	27,538	22,996

- （注） 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 保険の取扱開始以降の取扱保険料累計額は636,204百万円であります。

4. 損益状況【単体】

当行単体の当期の損益状況は次のとおりであります。

■貸出金利息、有価証券利息配当金の増加により資金利益は増加

貸出金利息は前期比4,641百万円増加して38,054百万円となりました。また、有価証券利息配当金は前期比4,506百万円増加し19,994百万円となりました。

この他、外貨調達費用増加を主因とする資金調達費用の増加（前期比+6,064百万円）があったものの、資金利益は全体で同2,251百万円増加の50,000百万円となりました。

■役務取引等費用の増加により役務取引等利益は減少

役務取引等利益は、融資関係手数料やビジネスマッチング手数料等の役務取引等収益が増加（前期比+138百万円）したものの、団体信用生命保険料等の役務取引等費用が増加（同+691百万円）したため、同553百万円減少の10,029百万円となりました。

■その他業務利益が減少となり、業務粗利益は減益

外国証券の売却損計上等により債券等関係損益（債券関係損益＋金融派生商品損益）が前期比12,263百万円減少したことを主因に、その他業務利益は同14,035百万円減少の△14,519百万円となりました。

以上の結果、業務粗利益は45,510百万円で前期比12,337百万円の減益となりました。

■物件費は減少したものの、業務純益は減益

経費は、次世代基幹系システム関連費用が前期比減少したこと等により物件費が減少したこと（前期比△2,051百万円）を主因に、全体で前期比2,215百万円減少し、44,518百万円となりました。

この結果、実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）は前期比10,122百万円減益の991百万円、業務純益は同7,384百万円減益の3,102百万円となりました。

■臨時損益は増加したものの、経常利益、当期純利益ともに減益

臨時損益のうち、不良債権処理額が4,165百万円と前期比2,678百万円増加したものの、株式等関係損益が17,329百万円と同6,393百万円増加したため、臨時損益全体では同3,284百万円の増加となりました。

これらの結果、経常利益は18,841百万円と前期比4,100百万円の減益となりました。

この他、特別損益は前期比717百万円増加、法人税等合計は同431百万円減少となった結果、当期純利益は同2,950百万円減益の14,411百万円となりました。

【 単 体 】

(単位：百万円)

項 番		2023年3月期	2022年3月期比較	2022年3月期
1	業 務 粗 利 益	45,510	△12,337	57,847
2	資 金 利 益	50,000	2,251	47,748
3	うち 資 金 運 用 収 益	59,005	8,317	50,687
4	うち 貸 出 金 利 息	38,054	4,641	33,412
5	うち 有 価 証 券 利 息 配 当 金	19,994	4,506	15,488
6	うち 資 金 調 達 費 用 (△)	9,006	6,064	2,941
7	うち 預 金 等 利 息 (△)	1,195	562	632
8	役 務 取 引 等 利 益	10,029	△553	10,582
9	役 務 取 引 等 収 益	15,016	138	14,877
10	役 務 取 引 等 費 用 (△)	4,986	691	4,294
11	そ の 他 業 務 利 益	△14,519	△14,035	△484
12	(うち 債 券 等 関 係 損 益)	△13,678	△12,263	△1,415
13	うち 国 内 業 務 粗 利 益	55,663	1,953	53,710
14	資 金 利 益	44,451	728	43,723
15	役 務 取 引 等 利 益	9,646	△644	10,291
16	そ の 他 業 務 利 益	1,565	1,869	△304
17	経 費 (除 く 臨 時 費 用 分) (△)	44,518	△2,215	46,733
18	人 件 費 (△)	18,890	55	18,834
19	物 件 費 (△)	22,544	△2,051	24,596
20	税 金 (△)	3,083	△219	3,302
21	実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	991	△10,122	11,113
22	コ ア 業 務 純 益	23,746	10,005	13,740
23	コア業務純益 (除く投資信託解約損益)	23,277	9,994	13,283
24	一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額 (△)	△2,111	△2,737	626
25	業 務 純 益	3,102	△7,384	10,487
26	臨 時 損 益	15,738	3,284	12,454
27	株 式 等 関 係 損 益	17,329	6,393	10,936
28	償 却 債 権 取 立 益	615	117	498
29	不 良 債 権 処 理 額 (△)	4,165	2,678	1,487
30	貸 倒 引 当 金 等 戻 入 益	—	△22	22
31	そ の 他 臨 時 損 益	1,959	△525	2,484
32	経 常 利 益	18,841	△4,100	22,942
33	特 別 損 益	127	717	△590
34	うち 固 定 資 産 処 分 損 益	127	208	△81
35	固 定 資 産 処 分 益	209	208	0
36	固 定 資 産 処 分 損 (△)	82	△0	82
37	うち 減 損 損 失 (△)	—	△509	509
38	税 引 前 当 期 純 利 益	18,968	△3,382	22,351
39	法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 (△)	4,092	△1,478	5,571
40	法 人 税 等 調 整 額 (△)	464	1,046	△581
41	法 人 税 等 合 計 (△)	4,557	△431	4,989
42	当 期 純 利 益	14,411	△2,950	17,361
43	与信コスト (貸倒償却引当費用) (△) [24+29-30]	2,054	△36	2,090

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 債券等関係損益＝国債等債券関係損益 (5勘定戻)＋金融派生商品収益－金融派生商品費用
3. コア業務純益＝業務純益＋一般貸倒引当金繰入額－国債等債券関係損益 (5勘定戻)
4. コア業務純益 (除く投資信託解約損益)＝コア業務純益－投資信託解約損益
投資信託解約損益は資金利益に、投資信託解約損は国債等債券関係損益に計上しております。

5. 損益状況【連結】

当行は連結子会社が7社あり、連結決算を実施しております。

当期の連結経常利益は前期比3,958百万円減益の20,041百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は同2,857百万円減益の14,858百万円となりました。

【連結】

損益の概要

(単位：百万円)

項番		2023年3月期	2022年3月期比較	2022年3月期
1	連結業務粗利益	48,207	△12,230	60,437
2	資金利益	49,029	2,246	46,783
3	役員取引等利益	12,777	△496	13,273
4	その他業務利益	△13,599	△13,980	380
5	営業経費（臨時費用処理分を除く）(△)	46,153	△2,081	48,235
6	連結実業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	2,053	△10,148	12,202
7	一般貸倒引当金繰入額(△)	△2,286	△2,860	574
8	連結業務純益	4,339	△7,288	11,628
9	その他経常損益（臨時損益）	15,701	3,330	12,371
10	不良債権処理額(△)	4,171	2,630	1,541
11	貸出金償却(△)	989	489	500
12	その他の貸倒引当金繰入額 （一般貸倒引当金繰入額を除く）(△)	3,172	2,139	1,033
13	その他債権売却損等(△)	9	1	8
14	貸倒引当金等戻入益	—	△22	22
15	償却債権取立益	615	117	498
16	株式等関係損益	17,331	6,395	10,935
17	売却益	18,382	4,629	13,753
18	売却損(△)	1,014	△1,719	2,734
19	償却(△)	37	△46	83
20	その他経常損益（営業経費中臨時処理分を含む）	1,927	△531	2,459
21	金銭の信託運用見合費用(△)	1	△1	2
22	経常利益	20,041	△3,958	23,999
23	特別損益	126	717	△590
24	税金等調整前当期純利益	20,168	△3,240	23,408
25	法人税、住民税及び事業税(△)	4,731	△1,454	6,186
26	法人税等調整額(△)	578	1,071	△493
27	法人税等合計(△)	5,309	△382	5,692
28	当期純利益	14,858	△2,857	17,715
29	非支配株主に帰属する当期純利益(△)	—	—	—
30	親会社株主に帰属する当期純利益	14,858	△2,857	17,715
	(参考)			
	与信コスト（7+10-14）(△)	1,885	△207	2,093

(注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 連結業務粗利益＝資金利益 {資金運用収益－(資金調達費用－金銭の信託運用見合費用)}＋役員取引等利益
(信託報酬＋役員取引等収益－役員取引等費用)＋その他業務利益(その他業務収益
－その他業務費用)

3. 連結業務純益＝連結業務粗利益－営業経費(臨時費用処理分を除く)－貸倒引当金繰入額(その他経常費用)中の一般貸倒引当金繰入額

6. 業務純益【単体】

(単位：百万円)

	2023年3月期	2022年3月期比較	
		2022年3月期	2022年3月期
(1) 実質業務純益 (一般貸倒引当金繰入前)	991	Δ10,122	11,113
職員一人当たり(千円)	500	Δ 4,931	5,431
(2) 業務純益	3,102	Δ7,384	10,487
職員一人当たり(千円)	1,564	Δ 3,561	5,126

- (注) 1. 金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
2. 職員数は、期中平均人員を使用しております。

7. 債券等関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2023年3月期	2022年3月期比較	
		2022年3月期	2022年3月期
国債等債券関係損益(5勘定戻)	Δ 22,754	Δ 20,127	Δ 2,626
売却益	870	Δ 3,036	3,907
償還益	—	—	—
売却損	23,426	16,894	6,531
償還損	198	198	—
償却	0	Δ 1	1
金融派生商品損益	9,075	7,864	1,211
債券等関係損益(合計)	Δ 13,678	Δ 12,263	Δ 1,415

- (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

8. 株式等関係損益【単体】

(単位：百万円)

	2023年3月期	2022年3月期比較	
		2022年3月期	2022年3月期
株式等関係損益(3勘定戻)	17,329	6,393	10,936
売却益	18,381	4,627	13,753
売却損	1,014	Δ 1,719	2,734
償却	37	Δ 46	83

- (注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

9. 有価証券の評価損益

(単位：百万円)

【単体ベース】	2023年3月末			2022年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	△5,152	—	5,152	△2,166	10	2,177
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	149,243	189,616	40,372	208,472	226,317	17,845
株式	182,720	183,412	692	220,938	221,335	396
債券	△11,055	3,315	14,370	△3,802	2,269	6,071
その他	△22,421	2,887	25,309	△8,663	2,713	11,377
金銭の信託(運用目的及び満期保有目的以外)	△36	—	36	—	—	—
〔その他有価証券評価差額金〕	〔107,247〕			〔148,402〕		

【連結ベース】	2023年3月末			2022年3月末		
	評価損益	評価益	評価損	評価損益	評価益	評価損
満期保有目的	△5,152	—	5,152	△2,166	10	2,177
子会社株式	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	150,494	190,866	40,372	209,747	227,592	17,845
株式	183,971	184,663	692	222,213	222,609	396
債券	△11,055	3,315	14,370	△3,802	2,269	6,071
その他	△22,421	2,887	25,309	△8,663	2,713	11,377
金銭の信託(運用目的及び満期保有目的以外)	△36	—	36	—	—	—
〔その他有価証券評価差額金〕	〔107,785〕			〔148,955〕		

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 「その他有価証券」については期末日の時価に基づいて評価しておりますので、上記の表は貸借対照表又は連結貸借対照表計上額と取得価額との差額を記載しております。
3. 「その他有価証券」には、「買入金銭債権」中の信託受益権を含めて記載しております。

10. ROE【単体】

(単位：%)

	2023年3月期	2022年度中間期		2022年度 中間期	2022年3月期
		比較	比較		
業務純益ベース	0.71	△1.83	△1.57	2.54	2.28
当期(中間)純利益ベース	3.32	△2.18	△0.45	5.50	3.77

(注) 小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

11. 自己資本比率（国際統一基準）

当行は信用リスクの計測手法として『FIRB（基礎的内部格付手法）』を、オペレーショナルリスクの計測手法として『標準的計測手法』を採用しております。

なお、当行単体の当期末の総自己資本比率は15.52%で前期末（2022年3月末）比0.68%上昇、連結ベースの当期末の総自己資本比率は15.80%で同0.66%上昇となりました。

【単体】

(金額単位：億円)

	2023年3月末		2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較		
① 単体総自己資本比率 (%) (④ ÷ ⑦)	15.52	2.43	0.68	13.09
② 単体Tier 1比率 (%) (⑤ ÷ ⑦)	15.52	2.43	0.68	13.09
③ 単体普通株式等Tier 1比率 (%) (⑥ ÷ ⑦)	15.52	2.43	0.68	13.09
④ 単体における総自己資本の額	3,985	187	△ 209	3,797
⑤ 単体におけるTier 1資本の額	3,985	187	△ 209	3,797
⑥ 単体における普通株式等Tier 1資本の額	3,985	187	△ 209	3,797
⑦ リスク・アセットの額	25,677	△ 3,315	△ 2,583	28,992
⑧ 単体総所要自己資本額	2,054	△ 265	△ 206	2,319

【連結】

(金額単位：億円)

	2023年3月末		2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較		
① 連結総自己資本比率 (%) (④ ÷ ⑦)	15.80	2.40	0.66	13.40
② 連結Tier 1比率 (%) (⑤ ÷ ⑦)	15.79	2.39	0.66	13.40
③ 連結普通株式等Tier 1比率 (%) (⑥ ÷ ⑦)	15.79	2.39	0.66	13.40
④ 連結における総自己資本の額	4,119	190	△ 206	3,928
⑤ 連結におけるTier 1資本の額	4,119	191	△ 204	3,927
⑥ 連結における普通株式等Tier 1資本の額	4,119	191	△ 204	3,927
⑦ リスク・アセットの額	26,070	△ 3,237	△ 2,496	29,308
⑧ 連結総所要自己資本額	2,085	△ 259	△ 199	2,344

(注) 金額は億円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

II 貸出金等の状況

1. 貸倒引当金と自己査定結果（債務者区分別）【単体】

当行単体の貸倒引当金の合計は306億円となり、前期末（2022年3月末）比3億円減少しました。

【単体】

(単位：百万円)

	2023年3月末	2022年9月末比較		2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
貸倒引当金	30,620	1,081	△303	29,538	30,923
一般貸倒引当金	10,415	△349	△2,111	10,765	12,527
個別貸倒引当金	20,204	1,430	1,807	18,773	18,396
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—	—

(単位：百万円)

(債務者区分別) 自己査定結果	破綻先債権	240	△260	96	501	144
	実質破綻先債権	2,456	895	927	1,561	1,529
	破綻懸念先債権	48,314	1,472	3,207	46,841	45,107
	要注意先債権	324,663	△14,464	5,129	339,128	319,533
	要管理先債権	47,864	△3,088	△9,460	50,952	57,324
	その他要注意先債権	276,798	△11,376	14,590	288,175	262,208
	正常先債権	4,026,606	117,625	259,938	3,908,980	3,766,667
	総与信残高	4,402,280	105,267	269,299	4,297,013	4,132,981

(部分直接償却額) (8,161) (△968) (△1,073) (9,130) (9,235)

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 金融再生法開示債権およびリスク管理債権の状況【単体】・【連結】

当行単体の金融再生法に基づく開示債権の合計は844億円で前期末（2022年3月末）比11億円の増加、総与信に占める比率は前期末比0.10%低下し1.91%となり、貸倒引当金や担保等による保全率は66.88%で同4.48%の上昇となりました。

【単体】

(金額単位：百万円)

	2023年3月末	2022年9月末比較		2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,697	634	1,023	2,062	1,673
危険債権	48,314	1,472	3,207	46,841	45,107
要管理債権	33,405	△195	△3,077	33,600	36,482
(うち三月以上延滞債権)	68	△19	10	87	57
(うち貸出条件緩和債権)	33,336	△176	△3,087	33,513	36,424
小計 (A)	84,416	1,911	1,153	82,504	83,262
総与信残高に占める比率 (%) (A) ÷ (B)	1.91	△0.01	△0.10	1.92	2.01
正常債権	4,317,864	103,355	268,145	4,214,508	4,049,718
合計 (B)	4,402,280	105,267	269,299	4,297,013	4,132,981

保全額 (C)	56,459	2,657	4,500	53,802	51,958
貸倒引当金	23,182	1,564	1,480	21,618	21,701
担保保証等	33,277	1,093	3,020	32,184	30,257

保全率 (%) (C) ÷ (A)	66.88	1.67	4.48	65.21	62.40
----------------------	-------	------	------	-------	-------

【 連 結 】

(金額単位：百万円)

	2023年3月末			2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,838	622	921	2,215	1,916
危険債権	48,314	1,472	3,207	46,841	45,107
要管理債権	33,408	△196	△3,077	33,605	36,486
(うち三月以上延滞債権)	68	△19	10	87	57
(うち貸出条件緩和債権)	33,340	△177	△3,088	33,517	36,429
小計 (A)	84,561	1,899	1,051	82,661	83,510
総与信残高に占める比率 (A) ÷ (B) (%)	1.92	0.00	△0.10	1.92	2.02
正常債権	4,318,070	103,355	268,129	4,214,715	4,049,941
合計 (B)	4,402,631	105,254	269,180	4,297,377	4,133,451

(注) 金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

3. 業種別貸出状況等

(1) 消費者ローン残高【単体】

(単位：百万円)

	2023年3月末			2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
消費者ローン	1,083,631	24,164	42,308	1,059,467	1,041,322
住宅ローン	1,015,959	12,079	22,846	1,003,880	993,113
その他ローン	67,671	12,084	19,462	55,587	48,209

- (注) 1. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
2. 住宅ローンには地方公共団体制度融資(住宅資金)・協定住宅融資等の住宅関連融資を含めて記載しております。

(2) 中小企業等貸出金残高・比率【単体】

(単位：百万円、%)

	2023年3月末			2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
中小企業等貸出金残高 (A)	2,870,923	98,146	184,989	2,772,776	2,685,933
うち中小企業向け残高 (注)	1,787,291	73,982	142,680	1,713,309	1,644,611
国内店貸出金残高 (B)	4,327,806	109,365	265,619	4,218,440	4,062,187
中小企業等貸出金比率 (%) (A) ÷ (B)	66.33	0.61	0.21	65.72	66.12

(注) 中小企業向け残高は、中小企業等貸出金残高 (A) より、上記 (1) の消費者ローン残高を控除して算出しております。なお、金額は百万円未満を、比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(3) 業種別貸出金残高【単体】

(単位：百万円)

	2023年3月末	2022年9月末比較		2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
国内店分 (除く特別国際金融取引勘定分)	4,327,806	109,365	265,619	4,218,440	4,062,187
製造業	561,724	9,692	14,094	552,031	547,630
農業・林業	8,416	932	1,343	7,483	7,072
漁業	533	△15	△69	548	603
鉱業・採石業・砂利採取業	5,289	△34	△4,914	5,323	10,203
建設業	138,757	11,530	8,023	127,226	130,733
電気・ガス・熱供給・水道業	138,608	27,427	45,387	111,180	93,220
情報通信業	15,813	1,415	△1,317	14,398	17,130
運輸業・郵便業	170,943	△7,943	△7,783	178,887	178,727
卸売業・小売業	456,272	7,173	33,805	449,099	422,466
金融業・保険業	149,660	5,109	61,792	144,550	87,868
不動産業・物品賃貸業	728,665	41,586	55,799	687,079	672,866
その他のサービス業	313,640	△976	△6,490	314,616	320,131
地方公共団体	526,818	△19,608	△2,268	546,427	529,087
その他	1,112,663	33,076	68,218	1,079,587	1,044,445

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

4. 地域別貸出状況等

(1) 特定海外債権残高【単体】

該当事項はありません。

(2) 地域別貸出金【単体】

(単位：百万円)

	2023年3月末	2022年9月末比較		2022年9月末	2022年3月末
		2022年9月末比較	2022年3月末比較		
アジア	33,391	545	8,503	32,845	24,887
北米	28,642	7,549	17,931	21,092	10,710
中南米	11,498	△168	4,568	11,666	6,929
オセアニア	6,576	△467	2,113	7,043	4,462
西欧	8,114	△576	219	8,691	7,895
東欧・ロシア等	719	719	719	—	—
中東	6,676	△564	1,780	7,240	4,895
アフリカ	4,896	1,999	2,448	2,896	2,447
合計	100,514	9,038	38,285	91,476	62,229

(注) 金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Ⅲ 2024年3月期の業績予想

〔主要勘定(通期の期中平均残高)〕

(金額単位：億円)

	単 体		連 結	
	予想平均残高	前期比較	予想平均残高	前期比較
預金等(譲渡性預金含む)	58,080	(2.2%) 1,285	57,894	(2.2%) 1,285
貸 出 金	43,656	(3.2%) 1,373	43,483	(3.2%) 1,373
有 価 証 券	13,922	(△0.4%) △68	13,889	(△0.4%) △68

(注) 前期比較欄の上段の()内は、前期比増減率であります。

〔利回り〕【単体】

(単位：%)

	予想利回り	前期比較
預金等(譲渡性預金含む)	0.03	0.01
貸 出 金	0.98	0.09
有 価 証 券	1.68	0.26

〔損益〕

【単体】

(単位：百万円)

	中間期(2023年9月期)			通期(2024年3月期)		
	2023年9月期 予 想	2022年9月期 実 績	2022年9月期 比 較	2024年3月期 予 想	2023年3月期 実 績	2023年3月期 比 較
経 常 利 益	12,500	15,738	△3,238	22,500	18,841	3,659
当期(中間)純利益	8,500	11,776	△3,276	15,000	14,411	589

【連結】

(単位：百万円)

	中間期(2023年9月期)			通期(2024年3月期)		
	2023年9月期 予 想	2022年9月期 実 績	2022年9月期 比 較	2024年3月期 予 想	2023年3月期 実 績	2023年3月期 比 較
経 常 利 益	13,000	16,252	△3,252	23,500	20,041	3,459
当期(中間)純利益(注)	8,700	11,933	△3,233	15,300	14,858	442

(注) 親会社株主に帰属する当期(中間)純利益を表示しております。